

歯をかぶせる治療



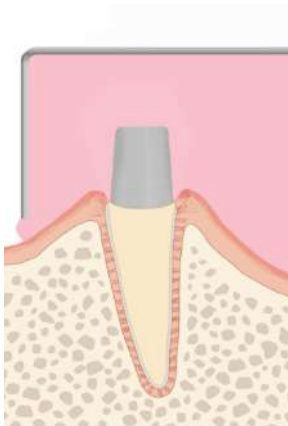
STEP 1 形を整える

歯質が多く欠損しているときには、かぶせ物を作る前に、土台を作る必要があります。土台の入る形に歯を整えます。



STEP 2 土台をたてる

歯の中に土台を立てます。土台になるものは様々な材料があります。



STEP 3 型をとる

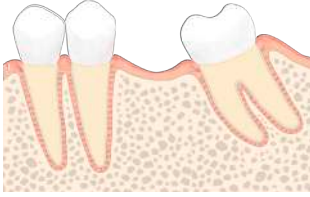
土台が立ったら、かぶせ物が入る形に歯を整え、型どりをします。



STEP 4 セットする

次回、出来上がったかぶせ物を調整して、歯にセットします。かぶせ物も様々な材料があります。

歯をおぎなう治療



歯を失ってしまったら、必ず何かで補わなければなりません。
どの治療を選択してもメンテナンスが必要です。
しっかりと治療して、残っている歯も守りましょう。

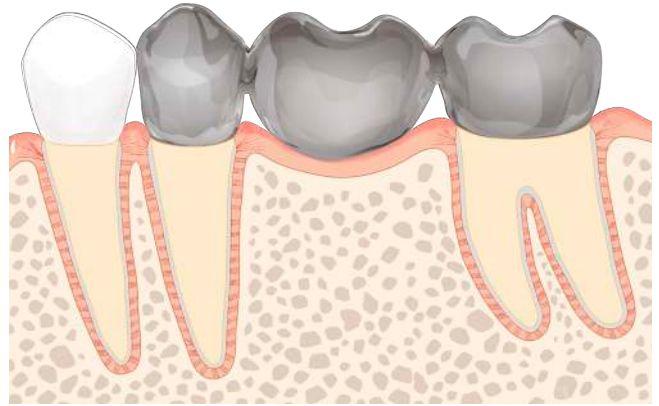
ブリッジ



- ・異物感が少ない
- ・つけたまま生活できる
- ・本物の歯に比較的近い



- ・健康な歯を削る必要がある
- ・清掃しにくい
- ・本数や適応範囲に限界がある
(できないこともある)



入れ歯(義歯)



- ・健康な歯を削る量が少ない
- ・取り外して清掃できる
- ・残っている歯や顎の形にと
らわれずに作ることができる



- ・異物感が強い
- ・金具などが見えることもある
- ・噛む力が弱い(本来の2割程度)



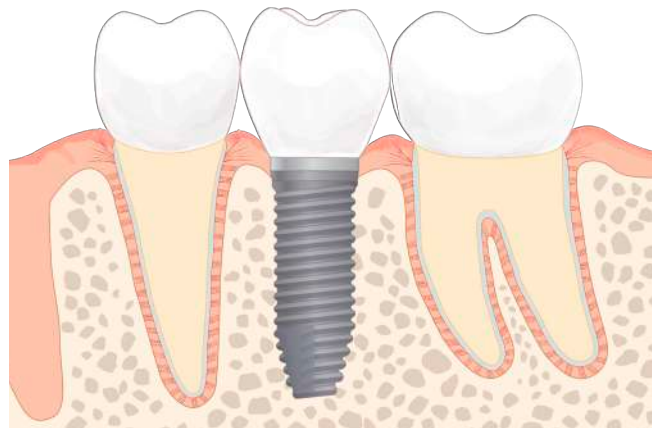
インプラント



- ・健康な歯を削ることがない
- ・周囲の歯に負担をかけない
- ・噛む力が本物の歯に近い



- ・治療期間がかかる
- ・外科治療が必要になる
- ・骨の量や持病によっては
適応外となる(できないこともある)



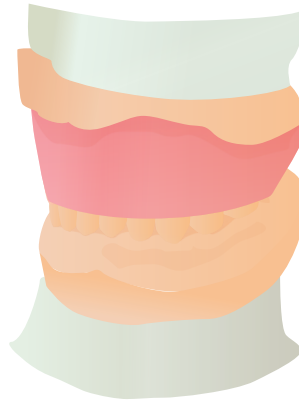
総入れ歯を作る治療

STEP 1 型をとる(1回～2回)

歯を失うと顎の骨がやせてしまうので、型どりが大事な工程になります。必要に応じて専用のトレーを製作し、2回に分けて型をとります。

STEP 2 噛み合わせをとる

上の歯と下の歯の噛み方は人それぞれです。ワックスでできた型を使って噛み合わせの型をとります。



STEP 3 試してみる

ワックスの上で歯を並べたものを、実際に口の中に入れて噛み合わせや見た目を確認します。



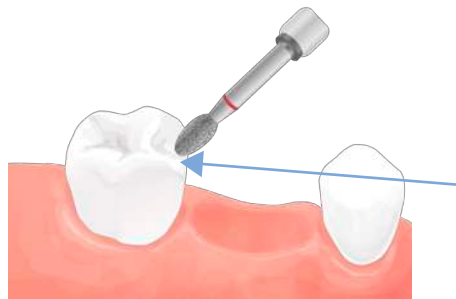
STEP 4 完成した入れ歯を調整する(数回)

入れ歯はでき上がってからがスタートです。自分の口にしっかりとなじむまで時間がかかるので、何度か調整を重ねる必要があります。

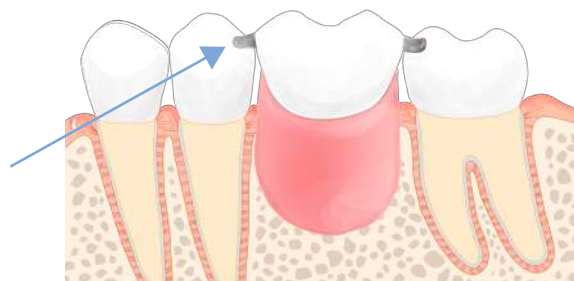


部分入れ歯を作る治療

STEP 1 歯の形を整える

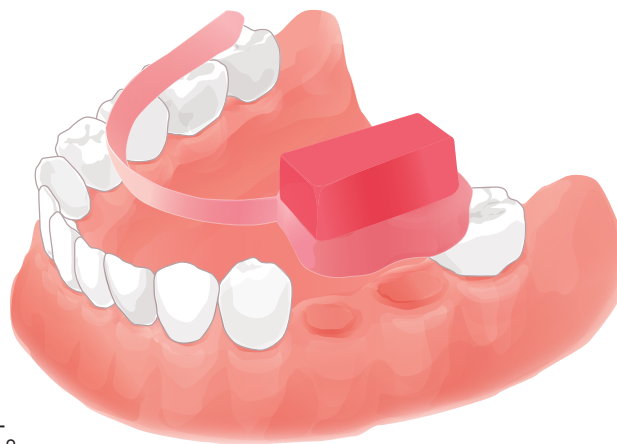


入れ歯の金具を
引っかける溝を
つくります。



STEP 2 型をとる(1回~2回)

口のなかの準備ができたなら、型をとります。
必要に応じて専用のトレーを製作し、
2回に分けて型をとります。



STEP 3 噛み合わせをとる

上の歯と下の歯の噛み方は人それぞれです。
主にワックスを使って、噛み合わせの型をとります。

STEP 4 完成した入れ歯を調整する(数回)

入れ歯はでき上がってからがスタートです。
自分の口にしっかりとなじむまで
時間がかかるので、
何度か調整を重ねる必要があります。

